

いよいよ新しい年度が始まりましたね。

春ですのでそれぞれの部署で新たに仲間を迎え新しい章が始まりますが、それぞれに順調なスタートが切れることを願って止みません。

そんな時期より若干前でしたが、当院で待望されておりました“研修医主体の症例検討会”の記念すべき第一回目が行われました。日本の講義中心勉強方式に対して、欧米の医学教育は主体的に・・・と言われ久しく、これに倣いすでにこのような取り組みをしている研修病院の評判を聞いてか、当院の初期研修卒業生からも“こういうのがあるともっと良かった”という意見をいただいていた。やる気みなぎる新2年生に提案すると、“やらせてください！”と即決。

今回の“ネタ”は医療安全に直結するものでしたが、これぞまさしく初期研修プログラムの親玉委員が言うところの“初期研修医が病院の医療安全の中心的な役割を担う”であり、検討会内容をアーカイブするのみならず、いずれ参加者の範囲も拡張できればと目論んでいます。

今回はスーパーバイザーで救急科スタッフにお越しいただきましたが、どうしても救急科に依頼が多くなりそうで引き続き頼りにしております。



働き方改革への対応など激しい変化に揉まれながらも、新2年生は著しい成長を遂げてくれております。新1年生も続けるといいですね！